

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
1021	1021	社会教育推進経費	01	01	一般会計
			10	10	教育費
基本施策	33	だれもが生きがいを有する機会をつくる	05	05	社会教育費
			01	01	社会教育総務費
担当部課名	教育委員会島ヶ原分室		101	101	社会教育推進経費
作成者氏名	川口正仁	連絡先	(59)2058	01	社会教育推進経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
	幼児から高齢者までの市民をを対象に、学習ニーズを踏まえ内容、方法等多彩で組織的な教育活動を行う。	県機関やNPO法人、行政機関とも連携を図り社会教育事業を推進していくことにより、受講者による地域の文化教育活動が一層活発に行われるようになる。				
本年度事業内容	○社会教育指導員による公民館教室や市民大学講座他、家庭教育指導員による家庭教育力の向上と子育て支援事業					
平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	伊賀市社会教育指導員及び家庭教育指導員設置に関する規則

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.4	0.4	0.4
	人件費合計(A)	2,880	2,880	2,880
②支出内訳(千円)	事業費(B)	3,676	3,957	3,957
	委託料			
	報酬	2,599	2,602	2,602
	その他	1,077	1,355	1,355
合計(A+B)		6,556	6,837	6,837
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
一般財源	6,556	6,837	6,837	
上記①～③に関する特記事項				
嘱託職員：社会教育指導員1名 家庭教育指導員1名の報酬と事務機器の使用料及び修繕料等				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
公民館教室開催回数	回	42	37	37			
生涯学習講座開催回数	回	7	7	7			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
受講者参加者数	公民館教室や講座へ参加している状況を表すため、各種教室等への参加者数を数値設定した。	人	670 目標 ()	631	634
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

特になし

評価	必要性	4	社会教育指導員等において、受講者にアンケート調査を随時おこない講座内容の検討や開催方法等工夫しながら、少ない予算の中で鋭意取り組んでいる。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	4		